

## 【企業動向調査（製造業）概況】

2021年4月～6月期の企業動向調査（市内製造業99社）を行った結果、業況判断指数D Iの平均は8.3ポイントとなりました。

前期調査結果（2021年1月～3月期：3.8ポイント）と比較して4.5ポイント好転しました。新型コロナウイルス感染予防対策で具体的にどのような対応を行っていますかについては、「毎月の抗原検査。」「懇親会、接待などの飲食の機会の中止。県外には行かない。」等の意見がありました。経営上の問題は、「材料の不足と受注が重なり、失注になってしまっているものもある。」「原材料（金属類）の高騰に歯止めがかからない。単価の値上げを検討する必要性を感じるが現状難しい。利益に支障が出る可能性もありうる。」「ウッドショックで原木の高騰が続いていて困る。」「緊急事態宣言下で、営業活動自粛の中の既存先設置製品の現場訪問へ行けないので、電話、メールでの対応厳しく、見積提案等セールスが思うようにできない。」などの意見がありました。

1. 今期調査結果は、「食品」、「金属」「一般機械」、「電気機械」がプラスポイント、「木材家具」、「その他業種」はマイナスポイントとなりました。

### 業種別の業況判断前期比D I

食品	25.0	（前期比：プラス	91.7）
金属	5.9	（前期比：プラス	11.5）
一般機械	30.8	（前期比：マイナス	19.2）
電気機械	8.3	（前期比：プラス	8.3）
木材家具	▲ 16.6	（前期比：マイナス	49.9）
その他業種	▲ 6.2	（前期比：マイナス	6.2）

2. 次期予想D I（2021年7月～9月）

次期予想の平均は1.4ポイントで、今期調査結果の平均(8.3)より、6.9ポイント下回る予想となりました。

### 業種別の次期予想D I

食品	▲ 12.5	（今期比：マイナス	37.5）
金属	0.0	（今期比：マイナス	5.9）
一般機械	30.8	（今期比：プラスマイナス	0.0）
電気機械	8.3	（今期比：プラスマイナス	0.0）
木材家具	▲ 33.3	（今期比：マイナス	16.7）
その他業種	▲ 5.9	（今期比：プラス	0.3）

3. 経営上の主な問題点

「原材料・仕入品単価の上昇」が74.0%、「人材不足（技術者等質的なもの）」が53.4%、「受注の減少」が38.4%、「納期の短縮」が24.7%、「労働力不足（量的なもの）」が23.3%、「同業他社との競争激化」が19.2%、「技術力の不足」が13.7%、「製品販売価格の低下」が9.6%、「取引先の海外シフト化」が5.5%、「金融難」が2.7%、「人員過剰」と「為替相場の変動」が1.4%となっております。

# 企 業 動 向 調 査

【 2021 年 4 月～ 6 月 期 < 2 期 > 】

## 【 調 査 概 要 】

須坂市産業振興部産業連携開発課では、市内製造業の景気動向を探る手段として、年 4 回市内企業を対象にアンケート調査を実施しており、今回は 2021 年 4 月～ 6 月 期 < 2 期 > の業況について調査した。

## 【 調 査 実 施 要 領 】

実施時期 2021 年 7 月

対象企業 須坂市内または事業所を有する製造業企業 99 社

回答企業数 73 社 (回答率 73%)

## 【 調 査 結 果 】

自社業況判断 (D I = 好転 - 悪化)

前期比: 「好転」 31.9% (前回 26.3%)、 「悪化」 23.6% (前回 22.5%) という割合で D I は 8.3 となり、 4.5 ポイント好転した。

前年同期比: 「好転」 45.2% (前回 25.3%)、 「悪化」 20.5% (前回 36.7%) という割合で D I は 24.7 となり、 36.1 ポイント好転した。

次期予想: 「好転」 21.9%、 「悪化」 20.5% という割合で D I は 1.4 (前回 ▲ 10.1) となり、前期より好転を予想している。

受注引合 (D I = 増加 - 減少)

前期比: 「増加」 34.7% (前回 27.5%)、 「減少」 22.2% (前回 26.3%) という割合で D I は 12.5 となり、 11.3 ポイント増加した。

前年同期比: 「増加」 47.9% (前回 27.5%)、 「減少」 19.2% (前回 33.8%) という割合で D I は 28.7 となり、 35.0 ポイント増加した。

次期予想: 「増加」 24.7%、 「減少」 23.3% という割合で D I は 1.4 (前回 ▲ 16.4) となり前期より増加を予想している。

生産量 (D I = 増加 - 減少)

前期比: 「増加」 36.6% (前回 25.3%)、 「減少」 21.1% (前回 19.0%) という割合で D I は 15.5 となり、 9.2 ポイント増加した。

前年同期比: 「増加」 45.8% (前回 29.1%)、 「減少」 18.1% (前回 35.4%) という割合で D I は 27.7 となり、 34.0 ポイント増加した。

次期予想: 「増加」 22.2%、 「減少」 23.6% という割合で D I は ▲ 1.4 (前回 ▲ 6.3) となり、前期より増加を予想している。

原材料・仕入品単価 (D I = 低下－上昇)

前 期 比：「低下」0.0% (前回 2.6%)、「上昇」64.8% (前回 36.4%) という割合で D I は▲ 64.8 となり、31.0 ポイント上昇した。

前年同期比：「低下」1.4% (前回 2.6%)、「上昇」70.8% (前回 44.2%) という割合で D I は▲ 69.4 となり、27.8 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「低下」0.0%、「上昇」61.1% という割合で D I は▲ 61.1 (前回▲ 61.0) となり、前期より原材料・仕入単価の上昇を予想している。

製品販売価格 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」5.7% (前回 1.3%)、「低下」7.1% (前回 6.3%) という割合で D I は▲ 1.4 となり、3.6 ポイント上昇した。

前年同期比：「上昇」9.9% (前回 5.1%)、「低下」7.0% (前回 8.9%) という割合で D I は 2.9 となり、6.7 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「上昇」5.6%、「低下」7.0% という割合で D I は▲ 1.4 (前回▲ 2.6) となり、前期より製品販売価格の上昇を予想している。

資金繰り (D I = 好転－悪化)

前 期 比：「好転」11.3% (前回 11.4%)、「悪化」11.3% (前回 16.5%) という割合で D I は 0.0 となり、5.1 ポイント好転した。

前年同期比：「好転」22.2% (前回 12.7%)、「悪化」12.5% (前回 25.3%) という割合で D I は 9.7 となり、22.3 ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」9.7%、「悪化」13.9% という割合で D I は▲ 4.2 (前回▲ 10.1) となり、前期より資金繰りの好転を予想している。

所定外労働時間 (D I = 増加－減少)

前 期 比：「増加」23.6% (前回 20.3%)、「減少」13.9% (前回 15.2%) という割合で D I は 9.7 となり、4.6 ポイント増加した。

前年同期比：「増加」32.9% (前回 20.3%)、「減少」13.7% (前回 24.1%) という割合で D I は 19.2 となり 23.0 ポイント増加した。

次 期 予 想：「増加」15.1%、「減少」13.7% という割合で D I は 1.4 (前回▲ 2.5) となり前期より労働時間の増加を予想している。

収 益 率 (D I = 上昇－低下)

前 期 比：「上昇」11.3% (前回 11.3%)、「低下」28.2% (前回 22.5%) という割合で D I は▲ 16.9 となり、5.7 ポイント低下した。

前年同期比：「上昇」27.8% (前回 18.8%)、「低下」23.6% (前回 35.0%) という割合で D I は 4.2 となり、20.4 ポイント上昇した。

次 期 予 想：「上昇」8.3%、「低下」31.9% という割合で D I は▲ 23.6 (前回▲ 20.0) となり、前期より若干の収益率の低下を予想している。

## 経営上の問題点（複数回答）

1位	原材料・仕入品単価の上昇	(→ 74.0%)
2位	人材不足（技術者等質的なもの）	(→ 53.4%)
3位	受注の減少	(→ 38.4%)
4位	納期の短縮	(↑ 24.7%)
5位	労働力不足（量的なもの）	(↓ 23.3%)
6位	同業他社との競争激化	(→ 19.2%)
7位	技術力の不足	(→ 13.7%)
8位	製品販売価格の低下	(→ 9.6%)
9位	取引先の海外シフト化	(↑ 5.5%)
10位	金融難	(→ 2.7%)
11位	人員過剰	(↓ 1.4%)
11位	為替相場の変動	(→ 1.4%)

※ 「↑」 前回の順位から上昇 「→」 前回の順位から変動なし  
「↓」 前回の順位から下降

## 業種別自社業況判断／食品

前期比：「好転」37.5%（前回0.0%）、「悪化」12.5%（前回66.7%）という割合でD Iは25.0となり、91.7ポイント好転した。

前年同期比：「好転」25.0%（前回11.1%）、「悪化」37.5%（前回66.7%）という割合でD Iは▲12.5となり、43.1ポイント好転した。

次期予想：「好転」12.5%、「悪化」25.0%という割合でD Iは▲12.5（前回▲11.1）となり、前期より若干の悪化を予想している。

## 業種別自社業況判断／金属機械

前期比：「好転」35.3%（前回22.2%）、「悪化」29.4%（前回27.8%）という割合でD Iは5.9となり11.5ポイント好転した。

前年同期比：「好転」52.9%（前回22.2%）、「悪化」23.5%（前回38.9%）という割合でD Iは29.4となり、46.1ポイント好転した。

次期予想：「好転」23.5%、「悪化」23.5%という割合でD Iは0.0（前回▲11.1）となり、前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／一般機械

前期比：「好転」46.2%（前回56.3%）、「悪化」15.4%（前回6.3%）という割合でD Iは30.8となり、19.2ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」69.2%（前回37.5%）、「悪化」15.4%（前回12.5%）という割合でD Iは53.8となり28.8ポイント好転した。

次期予想：「好転」30.8%、「悪化」0.0%という割合でD Iは30.8（前回25.0）となり、前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／電気機械

前 期 比：「好転」33.3%（前回21.4%）、「悪化」25.0%（前回21.4%）という割合でD Iは8.3となり、8.3ポイント増加した。

前年同期比：「好転」50.0%（前回35.7%）、「悪化」16.7%（前回35.7%）という割合でD Iは33.3となり、33.3ポイント増加した。

次 期 予 想：「好転」33.3%、「悪化」25.0%という割合でD Iは8.3（前回▲7.1）となり前期より好転を予想している。

## 業種別自社業況判断／木材家具

前 期 比：「好転」16.7%（前回50.0%）、「悪化」33.3%（前回16.7%）という割合でD Iは▲16.6となり、49.9ポイント悪化した。

前年同期比：「好転」50.0%（前回33.3%）、「悪化」16.7%（前回50.0%）という割合でD Iは33.3となり、50.0ポイント好転した。

次 期 予 想：「好転」0.0%、「悪化」33.3%という割合でD Iは▲33.3（前回▲66.7）となり、前期より好転を予想している。

Q 9 ワクチン休暇は導入していますか。

A 「導入していない」58.9%、「導入している」28.8%、「今後、導入する予定」12.3%。

Q11 (1)新型コロナウイルス感染予防対策についてお伺いします。貴社ではどのような対応を行っていますか。（複数回答）

A 「マスク着用、手洗い、換気等の徹底」97.3%、「消毒液、飛沫防止パーテーション、体温測定器等（非接触）の設置」75.3%、「テレワーク、オンライン会議、時差出勤」28.8%、「その他」5.5%、「無回答」1.4%。

Q11 (2) (1)で4 その他と答えた方にお伺いします。具体的にどのような対応を行っていますか。

A 「毎月の抗原検査」、「懇親会、接待などの飲食の機会の中止。県外には行かない。」、「食堂の密を避けるため、昼食の時間を二部制としている。」、「同一組織内分散勤務」

Q12 7月1日、日銀松本支店発表「企業短期経済観測調査（長野県）」において、ITや半導体関連などの好調要因から、基調判断を『一部弱い動きがみられるものの、持ち直しの動きが続いている。』と前回判断を引き上げました。なお、「先行きについては、半導体などの材料不足の生産への影響などを注視する必要がある。」との報道もありますが、貴社の状況をお伺いします。

(1)現状について

A 「今後、受注が見込める。」34.2%、「好調な受注がある」30.1%、「引合いがない」23.3%、「無回答」12.3%。

(2)先行きについて

A 「既に材料不足の影響が出ている。」34.2%、「現在、材料の在庫はあるが、今後の調達に影響が出ている。」32.9%、「生産への影響はない。」20.5%、「無回答」12.3%。

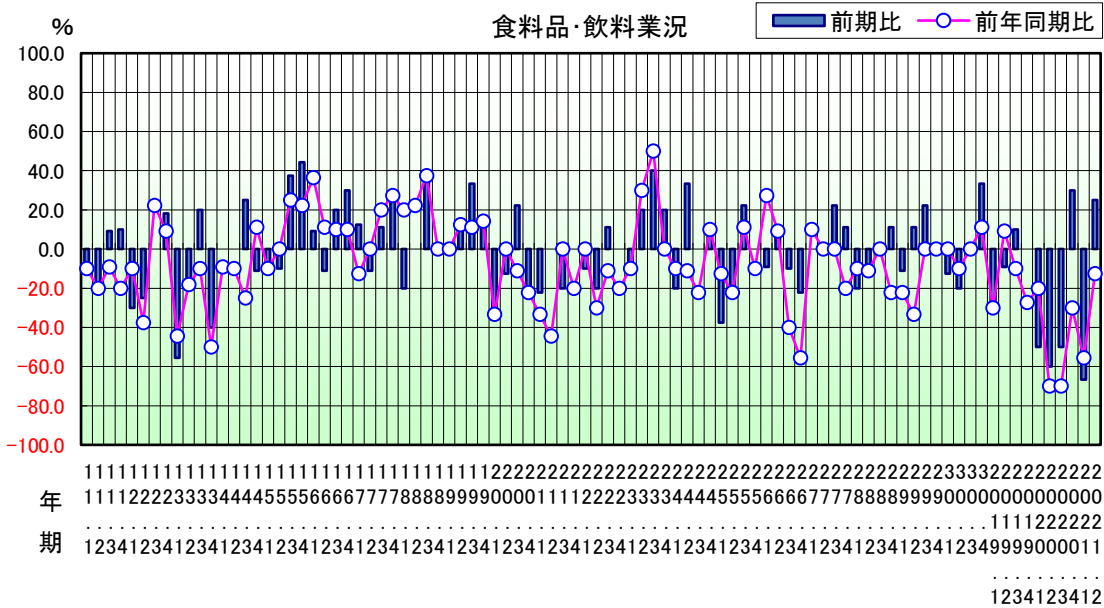
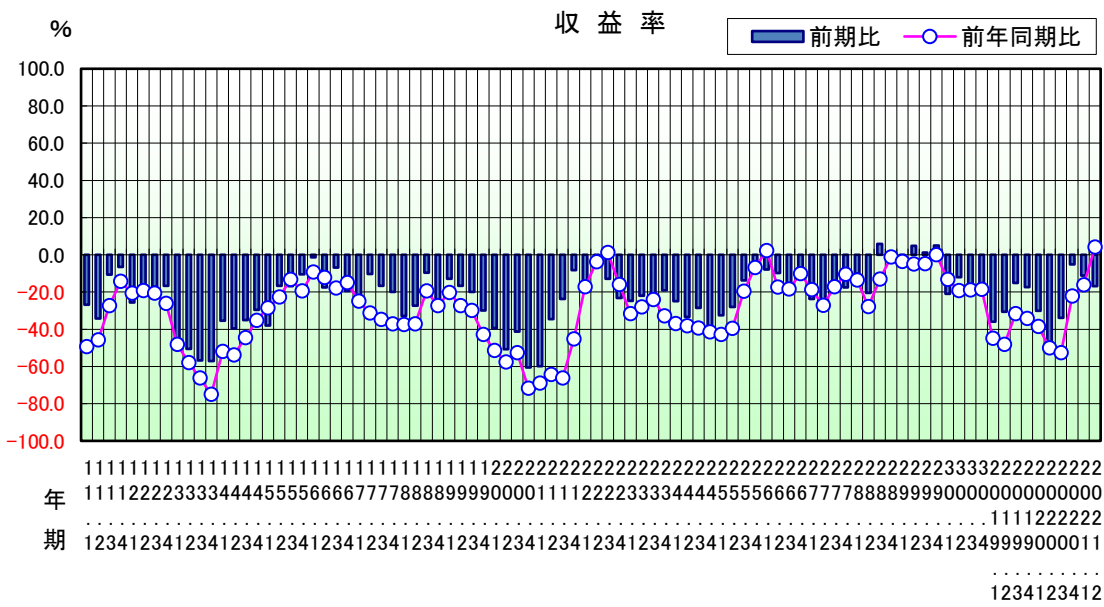
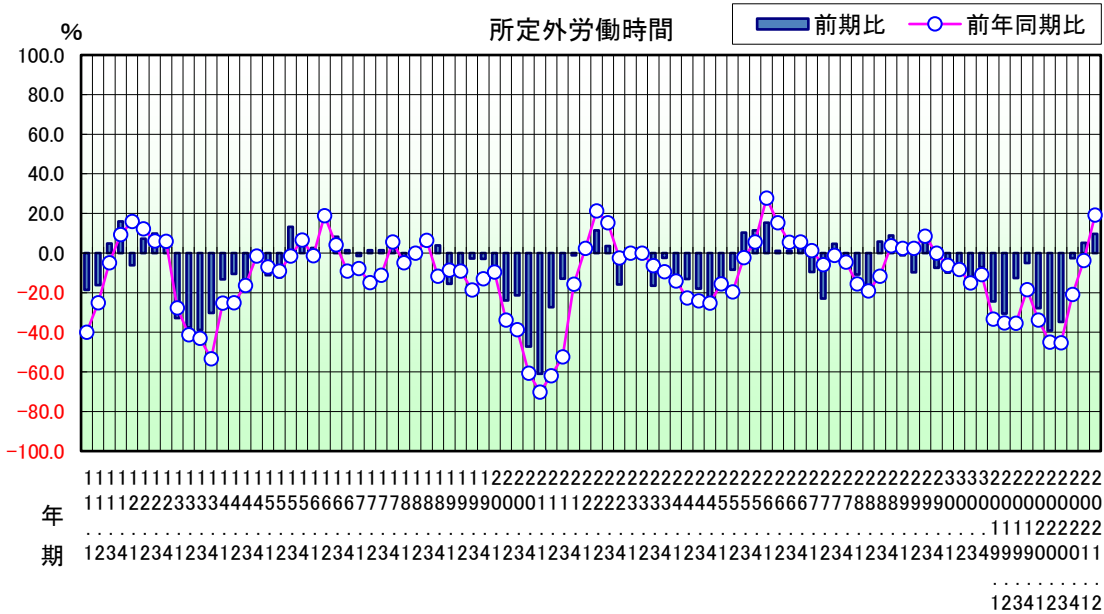
Q13 具体的な問題について

A 「すでに量産している自動車部品、半導体関連装置部品は好調だが、新規案件が少なくなっており、困っている。(材料入手困難が影響)」、「人員、人材の補充が難しくなっている。」、「新型コロナウイルス次第です。」、「①プラスチック原材料の入荷が難しい。(一部のもの)。②原材料値上がり分が、製品単価値上げが困難。」、「人材育成の取組み。技術力(全体)向上。」、「エンドユーザーがコロナウイルスの影響を強く受けている為、先行きの見通しが立て辛い。」、「今期一番の課題は、材料の調達不足による受注の取り消しなどの発生リスク。」、「ベトナム現地法人の近隣で感染が急拡大しており、日本人を含めた現地社員の感染リスク及び生産停止リスクが高まっている。」、「最低賃金は毎年上昇していくが、販売価格はそのままです。」、「ウッドショックの影響がどこまで続くか不安である。」、「当社の自動車部品製造は、取引先の半導体供給不足による生産減少の影響を受けています。」、「夏の工事でのマスクは熱中症のリスクがある。」等。

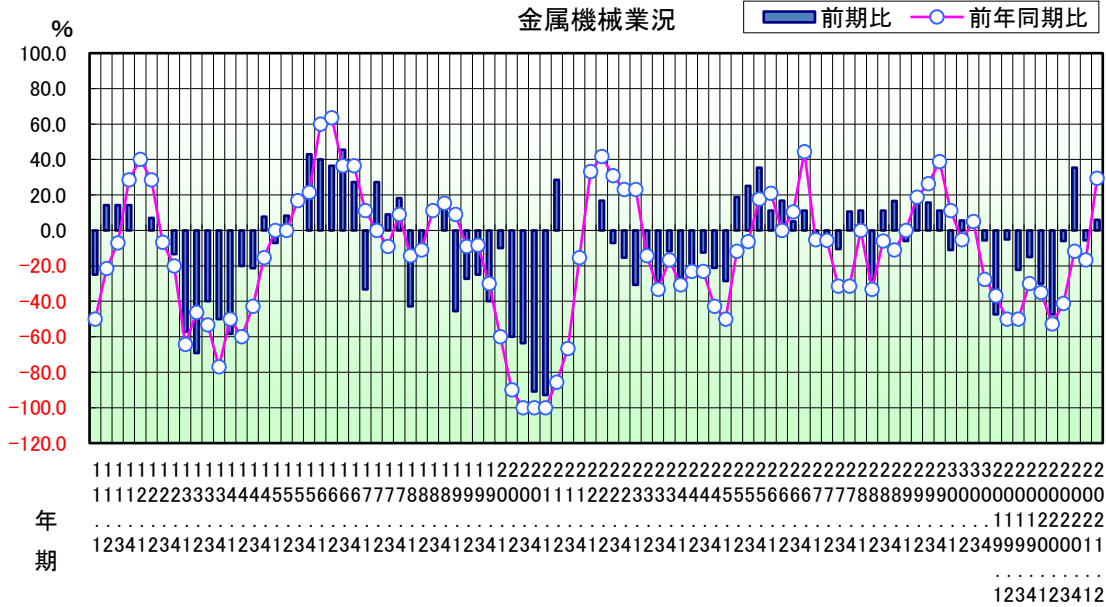




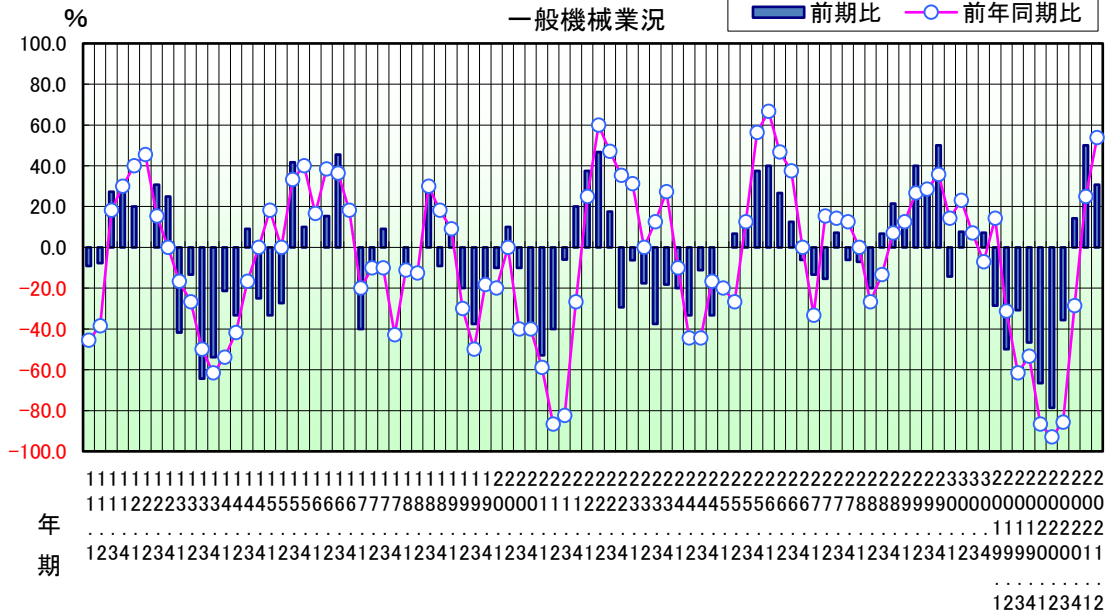




金属機械業況



一般機械業況



電気機械業況

